

第 2 学 年 国 語 科 学 習 指 導 計 画

2 年 1 組 指 導 者 五 十 部 大 暁

2 1 M (7 時 間) が本時

学 習 活 動	子 供 の 意 識
第 1 次 文章の内容の大体を捉え、学習の見通しについて話し合う	6 M (2 時 間)
学習内容 ・ 事柄の順序の関係について理解すること (知) ・ 事柄の順序を考えながら内容の大体を捉えること (思)	
<input type="checkbox"/> 文章を読み、内容の大体について話し合う (3 M) <input type="checkbox"/> 文章を読んだ感想を交流し、学習の見通しについて話し合う (3 M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回読む文章は「おにごっこ」というのか。鬼ごっこの遊び方について書かれている文章ではないのかな。まずは、どのようなことが書かれている文章かを確認するために読んでみよう。「～なのでしょう」と書かれている文は問いの文だね。問いの文を読むと、やっぱり鬼ごっこの遊び方について書かれている文章だと分かったよ。1 番目の鬼ごっこは「にげてはいけないところをきめる」だから代わり鬼のことだ。2 番目は「つかまらないときをきめたり」だから色鬼や高鬼のことかな。3 番目は「みんなおにになっておいかける」だから増え鬼のことだね。4 番目は「みんな手をつないでおいかける」だから手つなぎ鬼のことだ。文章の最後はまとめだね。あれ、文章の中でよく分からないところがあると言っている人がいるよ。どこのことなのかな。 ・ 文章のどこがよく分からなかったのだろう。B くんが分からないのは、増え鬼の説明の「にげる人をつかまえやすく」のところなのだって。それは、増え鬼をしたときに逃げる人をあまり捕まえられなかったから、本当に「つかまえやすく」なるかどうか分からないのか。そうか、書かれていることは分かるのだけれど、本当に説明のとおりかどうかがよく分からないのだね。みんなはどうなのだろう。代わり鬼や 2 番目の鬼ごっこの説明は分かるという人が多いね。でも、増え鬼や手つなぎ鬼の説明はよく分からないところがあるという人が多いな。どうなのだろう。B くんが、実際に鬼ごっこをして確かめてみるとよいのではないかなと言っているよ。よし、鬼ごっこを実際にして、本当に説明のとおりかどうか話し合ってみよう。
第 2 次 文章の内容に対する共感点数について話し合う	15 M (5 時 間)
学習内容 ・ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと (思) ・ 言葉の意味に着目しながら、目的に応じて説明的な文章を読もうとすること (態)	
<input type="checkbox"/> 共感点数を考えるための鬼ごっこの仕方について話し合う (3 M) <input type="checkbox"/> 1 番目と 2 番目の鬼ごっこの説明に書かれて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鬼ごっこをする前に、遊び方を決めたいな。代わり鬼の説明には「にげてはいけないところをきめる」と書かれているから、上運動場だけで代わり鬼をしよう。2 番目の鬼ごっこの説明には、「じめんにかいた丸の中」や「木にさわっているとき」と書かれているとおりの遊び方でやってみよう。増え鬼と手つなぎ鬼も書かれているとおりでよいね。あと、鬼と逃げる人を決めた方がよいと言っている人がいるよ。代わり鬼の説明は「鬼」のことしか書かれていないから、全員が鬼をやってみる必要があるのか。鬼を交代しよう。2 番目の鬼ごっこの説明は「にげる人」のことしか書かれていないから、逃げる人を交代しないといけないね。増え鬼と手つなぎ鬼の説明は「鬼」も「にげる人」のことも書かれているから両方するとよいね。まずは、休み時間に代わり鬼と 2 番目の鬼ごっこをしてから、話し合ってみよう。 ・ 代わり鬼と 2 番目の鬼ごっこをすると、説明のとおりのことがあったから、大体は分かったよ。でも、説明のとおりではないことも少しあった

いる内容に対する共感
点数について話し合う
(3M)

□ 3番目の鬼ごっこの説
明に書かれている内容
に対する共感点数につ
いて話し合う (3M)

□ 4番目の鬼ごっこの説
明に書かれている内容
に対する共感点数につ
いて話し合う (3M)

□ 文章のまとめに書かれ
ている内容に対する共
感点数について話し合
う (3M)

な。先生が点数で表してはどうかと言っているよ。「分かる点数」を考えよう。まずは、代わり鬼だ。「にげる人をつかまえやすく」と書かれているけれど、鬼をしたときに捕まえられなかったから、ぼくにとっては「やすく」ではないな。2点かな。ぼくと同じで、捕まえられなかったから2点にした人が他にもいるね。2番目の鬼ごっこはどうか。逃げたときになかなか捕まらなくて「かんたんにはつかまらずに」というところがよく分かったから4点だ。「やすく」や「かんたんに」の意味に気を付けて点数を考えることができたよ。「分かる点数」を考えるときは、言葉の意味に気を付けるとよいのだね。次は、増え鬼をしてから「分かる点数」を考えよう。

・ 休み時間にみんなで増え鬼をしたことを思い出して「分かる点数」を考えろ。前の時間のように、言葉の意味に気を付けて読もう。2点の人がいるね。面白かったけれど「もっと」とまでは思わなかったのだった。「もっと」という言葉が気になったのか。同じ言葉でも、増え鬼のときの体験によって点数が変わるのだね。森下さんも増え鬼をしたときにとっても面白かったから「もっと」を使ったのかもしれないな。逃げる人を簡単に捕まえることができ「つかまえやすく」がよく分かった人もいるのだった。確かに「つかまえやす」かったな。よし、「分かる点数」を3点にするぞ。「もっと」や「やすく」などの意味に気を付けて点数を考えることができたね。次は、言葉の意味にもっと気を付けて、手つなぎ鬼の説明の「分かる点数」を考えろ。

・ 休み時間にした増え鬼のことを思い出して「分かる点数」を考えろ。今回も言葉の意味に気を付けよう。ぼくは2点かな。手をつないだ鬼に何回も捕まってしまったから「にげる人はおにがふえるにつれてつかまりにくく」というところがよく分からなかったからだよ。「にくく」が気になるな。Bさんは4点なのか。協力をして逃げる人をたくさん捕まえることができたから「力を合わせて」がよく分かったのだね。よし、これで4つの鬼ごっこの説明の「分かる点数」を考えることができたぞ。ぼくは増え鬼の説明が一番よく分かったよ。やっぱり実際に鬼ごっこをしたときの体験によって点数が変わるのだね。そういえば、文章のまとめは分からないという人は少なかったけれど、言葉の意味に気を付けて読んでみると、どうなるのだろう。

・ 文章のまとめを、言葉の意味に気を付けながら読んで「分かる点数」を考えよう。「さまざまな」は「いろいろな」ということかな。ぼくもいろいろな鬼ごっこをしてきたから「さまざまなあそび方があります」というところがよく分かるよ。4点だ。他にも4点の人がいるね。その人は「自分たちに合ったおにごっこにすることもできます」というところが特によく分かったのだった。それは、楽しく遊べなくて自分たちに合った鬼ごっこにならなかつたときもあるからなのか。「も」の意味に気を付けているね。森下さんも言葉の意味に気を付けて文章を書いていることがよく分かるな。今回の学習を振り返ると、「分かる点数」を考えることができたのは、言葉の意味に気付けたからだね。これからも言葉の意味に気を付けて文章を読みたいな。